



平成30年度 3月
No.11 (H31年(2019年)2.28)
発行] 明石市立沢池小学校

「結」

校長 近藤 しのぶ

「結」という漢字には、連結するという意味もあれば、終結する、終わるという意味もあります。まさに3月がその時期です。現在の学年が終わる、そして、次学年に連結する一月です。これは、単に暦が進む、時間が経過するという事だけではありません。現学年で身に付けるべきことを修めたか、もしそうでなければ、学び返しが進んでいるか、また、次学年での自分の課題は何か分かり、それらを克服するための心構えができていないかなど、学校生活の来し方行く末を考える時でもあります。特に6年生は、中学校というステージに立つための大切な準備期間です。6年間の積み上げがきちんとできているかを顧みる機会です。そのうえで、残りの小学校での時間を大切に過ごしてほしいと思います。他の学年も、年度が変わり新しい環境でのスタートとなりますが、これまで培ってきた自分の力を信じて、また、これからの自分の成長を目指して、そして、沢池小学校の歴史を結んでいくのだという意識をもって学校生活を積極的に過ごしてほしいと思います。

子ども達の成長は、あらゆる人や物との出会いが積み重なって、今があります。その出会いは地域の人たちであったり、学校の友だち・先生であったり、ボランティアの人たちであったりと様々ですが、出会いはその時その時に確実に身に付けるべき力を与えてくれます。子ども達が出会った多くの方々から、目に見えない温かい心をいただいた事に感謝をし、今後さらに素晴らしい出会いをと願うばかりです。

最後になりましたが、本校教育活動にご理解ご協力を賜りまして本当にありがとうございました。今後とも保護者・地域の皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

お知らせ「卒業式での服装について」

最近、卒業式での服装が華美になっています。本校では様々な視点からPTA及び地域の皆様方と協議し、6年生の保護者の皆様のご意見を拝聴し、職員会議でも協議を重ねた結果、卒業式での服装について、6年生の保護者の方にはお手紙と修学旅行の説明会で、5年生の保護者の方には自然学校説明会で、以下の内容をお伝えさせていただきました。

- ① 化粧は、学校生活において小学生が行うべきことではないこと
- ② 服装は活動しやすく清楚なもので、華美にならないものを着用。
(裾が長く、広がるドレスや袴等は、転倒した、気分が悪くなった、トイレの対応が難しい、着くずれをしても自分でなおせない、という事案が発生していることから卒業式における適切な服装に当てはまらないと判断しました。)

保護者のみなさまにおかれましては、お子様の晴れの姿を豪華な衣装で着飾ってあげたいという思いもお聞きしますが、何卒ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

◎3月の行事予定◎

日	曜	行 事 予 定	日	曜	行 事 予 定
1	金	教育相談日 卒業式練習開始	17	日	
2	土		18	月	給食終了 期末清掃
3	日		19	火	卒業式準備 5年生弁当日 6年生・4年生以下11:55下校
4	月	朝会 委員会 あじさい・ひまわりお別れ遠足	20	水	卒業証書授与式 5年生12:30下校 4年生以下家庭学習
5	火	ブックママ 代表委員会 諸費引き落とし	21	木	春分の日
6	水		22	金	修了式 5年生机・椅子作業 11:55下校 1年生～4年生10:30下校
7	木		23	土	
8	金		24	日	
9	土		25	月	春季休業日開始
10	日		26	火	
11	月	3年生以上15:45下校(14日の振替)	27	水	
12	火	ブックママ	28	木	
13	水	卒業を祝う会(2校時)	29	金	
14	木	卒業式予行 14:45下校	30	土	
15	金	期末清掃 子ども安全の日	31	日	
16	土				

【4月の主な予定】

- | | |
|----------------------|------------|
| 8日(月) 着任式 始業式 | 9日(火) 入学式 |
| 10日(水) 2年生以上給食開始 | 12日(金) 離任式 |
| 15日(月) 1年生給食開始 | |
| 17日(水) 学級懇談会 PTA役員選出 | |
| 18日(木) 全国学力学習状況調査 | |



【「転ばぬ先の杖」と「失敗は成功のもと」】

いよいよ今月で本年度も終わりにになりました。この一年いろいろな経験や努力を児童は重ねてきたことと思います。きっと様々な喜びや悲しみを胸に刻み、新たな年に活かしてくれると思います。上の二つの言葉はよく耳にする言葉ですが、何か正反対の様に感じます。しかし実は両方の考え方を持っていないといけないのだと私は教諭の頃児童に教えていました。

失敗を恐れ何事にも消極的な状態では、自分の力を伸ばしていくことはできません。しかし、計画性もなく何でも手当たり次第に取り組むだけでは、満足感や達成感を得ることがなく、自分を好きにはなれないです。何事に対しても失敗を恐れることなくチャレンジし成功するまで粘り強く取り組む。その中で、同じ失敗をしないように、細部まで計画を練りチャレンジする。その繰り返して人は、成長していくものだと思います。きっとその時、最初に失敗と感じていたことは成功のための過程になっているのだと感じます。小学校時代にできる限り小さな失敗を繰り返し乗り越える経験を重ね達成感を感じることが、成長したときの生きる力につながるような気がします。

日々たくましくなる児童の姿を来年度も期待しています。(教頭 辻 勝由)